

# プロジェクト・ マネジメント 事例講演会

参加費  
無料

## 開催趣旨

- 経済産業省において、我が国製造業の競争力を支え、牽引する人材を育成するため、産学が連携して科学的な知見に裏付けられた製造現場の掘り合わせ力、マネジメント力、周辺との最適化等のスキル・ノウハウを持った「中核人材」を育成する「産学連携製造中核人材育成事業」を実施しています。
- 九州大学では、「溶接設計」「歯車製造」「粉体加工」といった設計・製造基盤技術分野での「中核人材」育成カリキュラムの構築とともに、製造現場の限られたヒト・モノ・カネを最大限に活用するマネジメント能力の向上を図る教育カリキュラム MOM (マネジメント・オブ・マニュファクチャリング) の構築を進め、平成 20 年度には、社会人講座を正式に開講する予定です。
- 今回は、MOM の一部である TOC (制約条件の理論)、プロジェクト・マネジメントのご紹介として「TOC による生産・SCM 革新プロジェクトの事例～自動車部品メーカーのケース」「ドーバー海峡トンネルプロジェクト遂行事例に学ぶ」の二題ご講演頂くとともに、九州大学で取り組んでいる「産学連携製造中核人材育成事業」の概要についても紹介致します。
- 産業界での競争力強化のために、非常に参考になる講演内容ですので企業経営者をはじめ、ご関心あります皆様のご参加をお待ちしています。

日 時／平成 19 年 2 月 23 日 (金) 13:00～17:20

場 所／チサンホテル博多 フォレスタ

(福岡市博多区博多駅前 2-8-11 TEL 092-411-3211)

主 催／九州大学ものづくりスーパー中核人材育成推進委員会  
トラブル処理・コミュニケーション小委員会

後 援／九州経済産業局、(社)九州経済連合会、(財)九州産業技術センター、日本プロジェクト・マネジメント協会、プロジェクト・マネジメント学会、(社)福岡県機械金属工業連合会、佐賀県機械金属工業会連合会、長崎工業会、熊本県工業連合会、大分県工業団体連合会、(社)宮崎県工業会、(社)鹿児島県工業倶楽部、(社)霧島工業クラブ

## プログラム

13:00～14:00 主催者挨拶／産学連携製造中核人材育成事業概要  
九州大学工学研究院 教授 北條 純一氏

14:10～15:40 「ドーバー海峡トンネルプロジェクト遂行事例に学ぶ」  
プロジェクト・マネジメント コンサルタント 小石原 健介氏

15:50～17:20 「TOC による生産・SCM 革新プロジェクトの事例  
～自動車部品メーカーのケース」  
(株)日本総合研究所 主任研究員 松崎 健一氏

定員：200 名

定員になり次第締め切らせて戴きます

## お申し込み方法

裏面参加申込書にご記入の上、以下FAX番号にご送付ください。また、メールでのお申し込みも受け付けています。

FAX 092-642-4428 メールアドレス [fujitde@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp](mailto:fujitde@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp)

※メールでのお申し込みの場合は、メールアドレス宛に、勤務先、役職、氏名、連絡先(住所・電話番号)をご記入の上、お申し込みください。

お問い合わせ先：九州大学工学研究院 調査室 TEL092-642-4428

## TOCによる生産・SCM革新 プロジェクトの事例 ~自動車部品メーカーのケース



(株)日本総合研究所 主任研究員

### 松崎 健一氏

#### プロフィール

1993年京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修了後、住友金属工業株式会社におけるORロジック開発、SCM・EC戦略立案などを経て、2001年に日本総合研究所入社。専門はTOCによる生産革新・SCM革新、システム化構想策定、業務改革、SCP・ERP導入など。米AGI認定TOCコンサルタント、独SAP社認定APOコンサルタントの資格を持つ。

化構想策定、業務改革、SCP・ERP導入など。米AGI認定TOCコンサルタント、独SAP社認定APOコンサルタントの資格を持つ。

#### 講演概要

競争激化で収益向上が一層難しくなっている現在、多くの企業では企業競争力の強化を目指し、サプライチェーン分野や生産分野においても様々な改善活動が行われている。しかし、それらの大半は、多くの時間、労力、資金を投入するにも関わらず、大きな利益改善を実現出来ずにいる。

TOC(制約条件の理論)の考え方をサプライチェーンや生産に適用することにより、実需に基づく在庫補充方式に変革し、生産全体にわたる仕組みを再構築し、短期間で大幅な改善効果を実現することが可能。今回、改革の強力な武器となるTOCソリューションの基礎的考え方を、実際のプロジェクトにおける効果実現のメカニズム、具体的実施手順など、自動車部品メーカーのケースを交えてわかりやすく紹介する。

## ドーバー海峡トンネル プロジェクト遂行事例に学ぶ



プロジェクト・マネジメントコンサルタント

### 小石原 健介氏

#### プロフィール

1963神戸商船大学機関学科卒業後、関西汽船における外航船舶での海上勤務を経て、1967年川崎重工業に入社。国内外プロジェクト建設所長、工事部長、社内PM研修講師など歴任。南アフリカISCOR製鉄所製鋼プロジェクト、台湾CSC製鉄所製鋼プロジェクト、ドーバー海峡トンネルプロジェクト、関西国際空港建設プロジェクト等に携わる。2000年に川重テクノサービスに移り、PM研修講師、P2Mの開発・執筆に携わる。2004年 同社退社。現在、プロジェクト・マネジメントコンサルタントとしてPM普及活動に従事。

#### 講演概要

20世紀最後のビッグプロジェクトといわれたドーバー海峡トンネルプロジェクトは、日欧国際協力による、世界最先端の技術を駆使して、1986年5月の工事着工から1994年5月の開業まで僅か8年で欧州200年の夢を実現させたプロジェクトとして知られている。本講演では、フランス側海底トンネル掘削機プロジェクトに参加した日本企業の現地所長として、プロジェクト・マネジメントの視点からプロジェクトの全体像、プロジェクトファイナンスによる巨大民活事業がもたらす熾烈な工期との闘い、全体最適化実現へ向けての類稀なる契約上の仕組み、広範囲におよぶ欧州調達とそのエキスペダイトの実態についてとりあげる。また、悪戦苦闘の中で所定の工期を8ヶ月短縮し、トンネルを貫通させ、最後に成功を収めた要因、その知恵と行動力において際立った役割を果たしたフランス人スタッフの貢献、プロジェクト遂行を通して得た教訓とプロジェクト成功サイクルへの道筋などについて、実践事例を通して伝えたい。

# プロジェクト・マネジメント事例講演会(福岡会場) 参加申込書

九州大学工学研究院 調査室 宛

FAX:092-642-4428 E-mail:fujitde@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

勤務先			
所在地	〒 .....		
氏名			役職
TEL			FAX
E-mail			

※定員になりし第締め切らせて戴きますので、お早めにお申し込みください。

※記入頂いた内容は個人情報の保護に関する法令の規定及び行政機関その他が定めた規範、ガイドライン等を遵守し、厳重に管理を致します。